

令和7年12月定例市議会 新任期に対する抱負

おはようございます。

12月定例市議会の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、御多忙の折りにもかかわらず御参集を賜り、厚くお礼を申し上げます。

議案等の説明に先立ちまして、この度、市民の皆様から御信任をいただき、引き続き玉野市政を担わせていただくことになりましたので、新任期に対する抱負を申し述べさせていただきます。

さて、「玉野、再始動。」を掲げて市長に就任し、全ての世代が希望を持って住み続けたいと思えるまちを目指し、子育て支援や教育の充実など、子どもや若い世代に向けた施策を重点としながら、様々な施策に取り組んでもまいりました。

子ども医療費の無償化の拡大や在宅育児手当の支給、子育て支援アプリの機能強化などに加え、教育面では、外国人英語指導助手（ALT）の配置、AI型学習ドリルの導入を行いました。また、子どもたちにとってより良い教育環境の確保を第一に考え、小中学校の再編についても、計画を進めております。

地域の活力の源である産業振興では、地元企業の魅力発信の強化と人材確保の支援に取り組み、観光振興では、瀬戸内国際芸術祭における循環バスの運行など、新たな魅力づくりと情報発信を行いました。

さらに、健康で安心して暮らせるまちの実現に向け、検診の一部無料化やたまの病院における遺伝子解析結果を活用した健康づくりのほか、シーバス、シータクのルート見直し、防災倉庫の設置、老朽化した市役所本庁舎の建替工事への着手などを行いました。

こうした中で、人口の社会動態のマイナス幅が縮小し、新たな企業進出や海外からの観光客の増加など、明るい兆しが見えてまいりました。

これから始まる新任期では、こうした動きを捉え、これまでの取組をさらに充実、加速させ、市内の各地域が活力を保ち、多様な市民がつながり、生きがいと誇りを持って暮らせる「ウェルビーイングのまち」の実現を目指して、引き続き全力で取り組んでまいります。

この4年間で私が重点的に取り組む施策につきまして、5つの分野ごとに主なものを申し上げます。

始めに、「安心して子育てや教育ができるまち」についてであります。

少子化が進行する中で、まずは、安心して出産・子育てができるよう、出産前後の心身のケアなど、産前・産後ケアの充実を図ってまいりたいと考えております。

また、現在、国におきまして、まずは小学校の給食費の無償化に向けた検討が進められているところですが、全国的な物価高騰に歯止めがかからない中で、子育て世帯の経済的な負担軽減を図り、玉野市が子育て世代に選ばれるまちとなるよう、小学校に加えて中学

校の給食費の無償化にも取り組みたいと考えております。

次に「いつまでも元気で安心して暮らせる健康長寿のまち」についてであります。

市民の健康づくりや認知症予防などに引き続き取り組むとともに、地域の公共交通であるシーバス、シータクについて、特に移動手段を持たない高齢者の皆様の外出機会を確保するため、一層の利便性の向上が必要であり、路線や停留所の見直し、利用促進などを行ってまいりたいと考えております。

また、イノシシなどの有害鳥獣対策として、捕獲活動を行うイノシシ捕獲隊や協力隊の活動支援を強化していくとともに、引き続き、防護柵の設置を推進してまいります。

さらに、増加の一途をたどっている空き家対策といたしまして、移住施策と連携して空き家の利活用を図るとともに、周辺地域に悪影響を及ぼす可能性のある特定空き家等への対策を強化してまいりたいと考えております。

次に「未来を築く活力あふれるまち」についてであります。

産業面では、本市の基幹産業である造船業に関し、国が国内の建造量を 2035 年に現在の約 2 倍となる 1800 万総トンに引き上げる目標を掲げ、建造能力の增强投資や造船に携わる人材育成などへの支援を検討す

る方針を示しており、本市への波及効果も大いに期待されるところであります。

こうした中、製造業を中心とした市内企業におきましては、人手不足が慢性化しております、その解消が急務となっております。このため、市内企業の情報発信を引き続き積極的に行うとともに、市内就職に対する動機付けとなる施策を検討し、UIJ ターン就職を促進していきたいと考えております。

また、市内での起業や就職を希望する若者や女性が、必要なスキルを身に付けることができるよう、業務に応じた技術力の向上や知識の修得、起業への支援を行ってまいりたいと考えております。

観光面では、瀬戸内国際芸術祭や音楽フェスの瀬戸内コンテンポラリーの開催等により、宇野港周辺を中心とした新たな賑わいが生まれているところであります。来年は瀬戸内産業芸術祭の開催も予定されております。こうした民間主体の動きも含め、さらなる活性化を図るため、国・県等と連携しながら瀬戸内海の島々へのゲートウェイとなる「新生宇野港」に向けた取り組みを進めてまいりたいと考えております。

次に「自分らしい生活や豊かさを感じる“ウェルビーイング”のまち」についてであります。

市民の文化芸術活動の拠点となる新市民会館につきまして、これまで調査・研究を進めてまいりましたが、今後、その整備に向けて、専門家や関係団体、さらには市民の皆様のご意見も伺いながら、基本理念や運営

方針等を定めた基本構想の策定に着手し、具体的な案をお示しして取り組んでまいりたいと考えております。

最後に、「市民に信頼され、持続可能なまち」についてであります。

現在、市役所の本庁舎の建設が進んでおり、令和8年9月には新たな庁舎において業務を開始する予定です。これに合わせまして、市役所の窓口手続きにデジタル技術を活用し、市民の利便性・快適性の向上と職員の業務効率向上の両立が図られるよう、窓口DXを推進してまいります。

以上、新たな任期において重点的に取り組む施策について申し上げました。今後も、初心を忘れず、市民福祉の向上と市勢の発展のため、全力で取り組む決意です。どうか議員各位をはじめとして、市民の皆様の御理解、御協力を賜りますよう心からお願いを申し上げ、私の新任期に対する抱負とさせていただきます。

なお、本日から開会されます12月定例市議会においては、予算議案4件、条例議案2件、その他議案6件の合わせて12件を提案しております。

この後、各議案についての御説明をさせていただきますが、議員各位におかれましては、本会議及び常任委員会において御審議を賜りますようお願いを申し上げます。